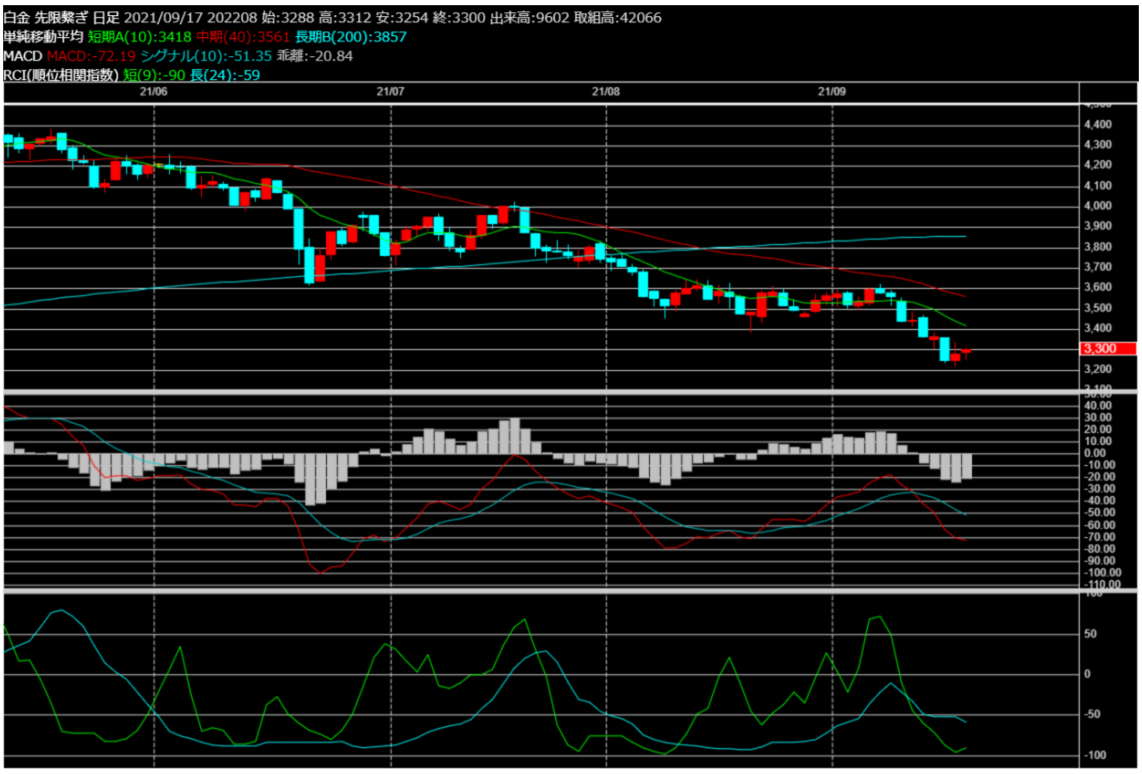
＜白金標準先物、中国垣大集団のデフォルトリスクの波紋・・＞



（出所：オアシス）

トヨタ自動車は、10 月の国内 14 工場 27 ラインで最大 11 日間の稼働停止の影響を受けて年間生産台数 930 万台の当初の計画を 900 万台に引き下げている。

そのため先週には一時 11 月以来の 3215 円まで下値を模索するなど、サプライチェーンの混乱を受けている。

また中国では大手不動産会社中国垣大集団の 20 日の利払いを中国政府は主要債権銀行に利払いを同社が行わない見込みだと伝えたが、23 日にはドル建て 5 年債の 8350 億ドル、人民元建て債の 2 億 3200 万元（39 億円）の利払いの期限が来る事から、デフォルトのリスクが高まりを見せており、宝飾需要に自動車排ガス規制の需要と合わせて中国市場は大きな要因となるため、中国経済の不安要因は大きく響く状況である。そのため再度 3215 円を下回る値動きには注意が必要である。　　（2021 年 9 月 20 日記載）

＜テクニカル＞

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD とシグナルが下げており、転換を示すクロスの動きを示していない。また RCI でも短期が下げ止まり、長期が下げており、短期と長期のクロスが示されていない。そのため再度 3215 円を試す値動きには注意が必要である。

＜データー＞

NYMEX 指定倉庫在庫（トロイオンス）：532122（前週比－148）

世界プラチナ ETF 残高（トン）：71.89（前週比－0.24）